

【施策評価調査】

施策名	1-4-1	石綿セメント管更新事業		78	政策を推進するには、より安心な水道水の安定供給が必要であるため より安全な水道水の供給……老朽管による漏水の解消 より安定した水道水の供給……配水管網の整備による水量・水圧不足の解消 顧客満足度の高い水道事業の運営……モニター制度導入による公聴の充実 以上の事を解消する事により、安心した水道水を供給します。当施策は、の観点から実施します。
	担当部課	建設産業部上下水道課	担当 リーダー 建設整備担当 阿久津 幽樹		
環境変化	平成20年8月に石綿セメント管更新事業計画を策定し、事業期間は平成20年度から平成26年度まで、国庫補助基本額は540,000千円、国庫補助額は135,000千円の計画で、国庫補助事業の認定を受けた。				施策内容 より安全な水道水を安定供給するため、他の公共事業と連携を図りながら、老朽化した石綿セメント管を計画的に更新します。

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：石綿セメント更新整備計画延長 25,616m	平成16年度までの実績 12.9%	計画	21.0%	26.0%	34.8%	47.9%	61.0%
		実績	22.9%	32.8%	38.7%		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	毎年、除却された石綿セメント管の累積率となっています。平成20年度末 9,907.36m(石綿セメント管累積延長)÷25,616m(石綿セメント管更新全体延長)=38.7%						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	61,980,000	99,800,000	112,420,000	119,059,000	
	決算	36,445,500	110,866,875	83,737,500		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	今後の方向性(総合評価)	継続
宝積寺地区石綿セメント管布設替事業	H21 現計 151,846,000	石綿セメント管布設替延長 160m	石綿セメント管を布設替することで、漏水事故の防止、管の耐震性の向上が図られ、水道水の安定供給ができる。	今後の方向性(総合評価)	継続
	H22 計画 8,880,000				
仁井田地区石綿セメント管布設替工事	H21 現計 0	石綿セメント管布設替延長 2,820m	石綿セメント管を布設替することで、漏水事故の防止、管の耐震性の向上が図られ、水道水の安定供給ができる。	今後の方向性(総合評価)	継続
	H22 計画 158,770,000				
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性 現状水準維持	平成26年度を目標に、補助事業で石綿セメント管を耐震管に布設替(更新)する。工事実施にあたっては下水道工事、市街地配水管網整備事業と同時施工とする。駅西第2地区は地域の計画決定後に、次期下水道認可区域は下水道工事と同時施工として実施する。	
総合評価	継続的に施策展開がされていると評価する。 後期計画に向け、関連する他の施策と整合を図った上で、連携のとれた施策展開をするとともに、管網整備だけでなく、耐震診断結果による配水施設の耐震等についても財政状況を勘案した整備計画を検討すること。		H22年度当初予算査定までの指示事項